

余市町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

余市町は古くから道内有数の果樹産地として知られ、近年では収穫が安定している施設野菜の栽培が主体になりつつあります。農業経営は果樹、野菜を中心に稲作、花卉、酪農と、多岐に渡っており、稲作については農家1戸あたりにおける水稲作付面積が小さいので果樹もしくは野菜栽培との複合経営によって行われている。水田農地の有効活用としては、経営主力作物の野菜、果樹などへの転作である。また、高齢化や後継者不在が顕著になってきていることから、転作田の耕作放棄を防止することが重要な課題となっている。

2 作物ごとの取組方針

水田について適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

食料の安定供給や環境の保全など、水田のもつ多様な機能の面を考慮し、良質米産地として、生産を維持していくことを目標と設定する。

(2) 野菜

「アスパラガス(グリーン)」、「いちご」、「いんげん」、「うり」、「えだまめ」、「かぼちゃ」、「きゅうり」、「ささげ」、「さやいんげん」、「さやえんどう」、「すいか」、「トマト」、「なす」、「なんばん」、「ピーマン」、「みずな」、「ミニかぼちゃ」、「かぼちゃ」、「ミニトマト」、「トマト」、「とうもろこし」を振興品目として拡大する。余市町が野菜指定産地に認定されている「トマト」、「ミニトマト」は特に実需者ニーズがあり、指定産地としての地位を確立していく為、作付け維持・拡大を目指し重点振興作物に位置付ける。また、水田転作からの作付け野菜として当再生協議会が長年、推奨してきた「かぼちゃ」は省力化栽培ができ不作地解消に貢献してきたもので、作付け維持・拡大を目指し重点振興作物に位置付ける。

(3) 果樹

「りんご」、「ぶどう」、「なし」、「もも」、「桜桃」、「栗」、「梅」、「すもも」、「ブルーベリー」、「ハスカップ」、「プルーン」、「マルメロ」、「アロニア」、「くるみ」を振興品目として維持・拡大する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 31 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	28.2	28.0	28.0
飼料用米			
米粉用米			
WCS 用稲			
加工用米			
備蓄米			
麦			
大豆			
飼料作物			
そば			
なたね			
その他地域振興作物			
野菜	3.5	3.8	4.0
果樹	2.6	2.7	2.7

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				現状値	目標値
1	ミニトマト トマト	重点振興作物作付け	面積拡大	(29年度) 0.8ha	(31年度) 0.9ha
2	かぼちゃ	重点振興作物作付け	面積拡大	(29年度) 1.3ha	(31年度) 1.4ha
3	果樹、野菜 (整理番号 1.2 除く)	地域振興作物作付け	面積拡大	(29年度) 4.1ha	(31年度) 4.4ha